

続

札幌駅前通と 創成川通の これから

特集

幅広い年齢層の一般参加者、進行役、書記を合わせて、2日間で700人以上が参加しました(11月14日、15日 札幌メディアパークスピカ)



テーブルの意見をふせんで整理



都心の将来を真剣に話し合いました

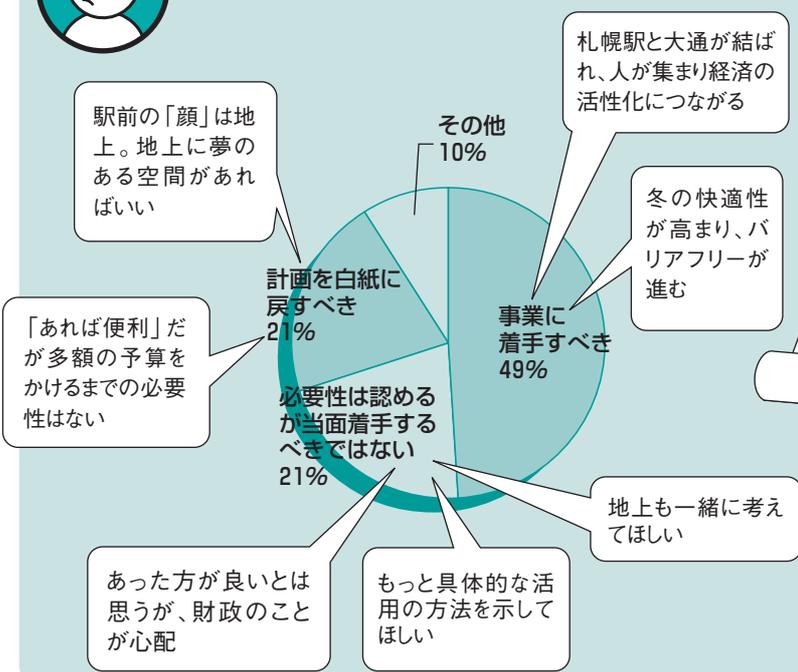
本誌10月号でご紹介した、札幌駅前通地下歩行空間と創成川通連続アンダーパス。11月に行われた、都心の交通を考える「市民1000人ワークショップ」では、この二つの事業について議論が交わされました。これらの意見なども参考にしながら決めた本市の基本的な方針をご紹介します。この方針を基に今月下旬から始まる市議会に新年度予算案を提出します。

札幌駅前通地下歩行空間

- ◎区間／地下鉄南北線さっぽろ駅～大通駅(北3条～大通)
 - ◎幅員／20m
 - ◎延長／約465m
 - ◎総事業費／約200億円(市の負担は約80億円*)
- ※全区間・全事業を国の補助事業で行うとした場合の試算



地下歩行空間の整備についてどう考えますか？



市民1000人
ワークショップの結果

中央分離帯などの樹木については、専門家の調査の結果、①駅前通に残したまま工事することは不可能、②別の場所に移植することは可能、③しかし、完成後再び戻すことは木への影響が大きく、良好な景観を作ることができないため、新たな若木を植えることが適当である、との結果が出ました。この結果を踏まえたワークショップのテーブル議論では、現在の木を別の場所に移すことに反対する意見は少数でした。

※グラフの数値は小数第1位を四捨五入しています